

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 26	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 ブドウ（シャインマスカット）の1房あたりの着粒数と果実品質等の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 シャインマスカットの市場での出荷規格は1房500g程度であるが、県内では有利販売に繋げようと市場よりボリュームのある房を生産する意向が多く、全体的に大房傾向となっている。また、大房のものほど果粒の着生位置（上段・下段）による糖度のバラツキが多く、大房化による品質低下が課題となっている。 そこで、1房あたりの果粒数と着生位置（上段・下段）別の糖度等、果実品質について検討をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業技術センター	担当部所 生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合) I かながわらしい地産地消を推進するための技術開発 I-2 (3) 落葉果樹の高品質・安定生産技術の開発 ウ 直売向けブドウ新品種の高品質安定生産技術の確立 (イ) ‘シャインマスカット’の高品質果実生産技術の確立	
対応の内容等 これまで‘シャインマスカット’については、上記の課題を設けて、これまで生育期の摘心による高品質化に取り組み（平成26年度成果）、現在は省力化と新規商材開発を目指した小房栽培（実施中）に取り組んでいます。ご要望の内容を受けて、たとえば、収量を一定にした際に、ご指摘のような1房あたりの果房重、着粒数と着生位置別の糖度や酸度を含めた果実品質など、検討すべき内容を整理し、試験に反映させたいと考えます	
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
備考	